



この金メッキの模様はクルニのゴブラン織りをモチーフとしたものです。  
一平方センチメートルあたり225のステッチです。



	CATHEDRAL Stefansdom
Kärntner Durgang	Weihburggasse
Kupferschmiedg.	
PETIT POINT ●	Himmelplortg.
Donnergasse	Johannesgasse
Marco-d'Aviano G.	Annagasse
Führichgasse	Krugerstraße
Maysedergasse	
Philharmonikerstraße	
STATE OPERA Staatsooper	

*Petit Point*

アンネグリット・コヴァチュチュ  
ケルトナー通り 16  
1010 ウィーン  
オーストリア  
ヨーロッパ

電話: ++43/1/512 48 86  
FAX: ++43/1/914 12 29  
メール: petitpoint@aon.at



*Petit Point*

プチ・ポワン  
一着一枚  
ハンドメイドの刺繍

アンネグリット・コヴァチュチュ  
ケルトナー通り 16  
1010 ウィーン  
オーストリア  
ヨーロッパ





*Petit Point*  
finest  
handmade  
embroidery

ハプスブルク帝国女帝マリア・テレジア（1717-1780）の時代にこの非常に細かい刺繍品がとて有名になりました。マリア・テレジアは宮廷の女官と一緒にプチ・ポワンを作ることを楽しみました。

長い伝統を誇るプチ・ポワンは、もともとフランスの宮廷で生まれました。当時プチ・ポワンより目の細いゴブライン織りが主流でした。

その後、刺繍の技術はオーストリアの宮廷に伝えられ、女帝マリア・テレジアによって極めて緻密で完璧な技法へと高められました。

そして、世代があらたまり時代を経るにつれ、プチ・ポワンのステッチはさらに細くなり、糸もますます細く、色はさらに洗練されていきました。ウィーンのプチ・ポワンが、ロココの時代に頂点を迎え、現在でも、この時代に生まれたステッチ図柄が見本として用いられています。

特にフランスとオランダのマイスターによる作品がウィーン独自のプチ・ポワンの作品に色濃く反映されています。

手作りのプチ・ポワンを

1個を製作するには、細かいステッチで4000色ほどの陰影をつけるため、半年の時間が必要となります。

素晴らしい美術品のために多彩な糸が入念に選び出されており、この選定は独特な刺繍のスタイルに、影響を与えています。

シルク・キャンバスで作っていて、一针がハーフトロス・ステッチです。

一平方センチメートルあたり361（19x19）のステッチで、一平方センチで2360ものステッチが用いられています。これらによって美しい色のハーモニーが醸し出されているのです。

この技術によって華麗で優雅な製品が作り出されています。

エレガントなハンドバッグには、品質が一番いい糸が必要です。ウィーンのプチ・ポワンのハンドバッグの枠はメキシコの真鍮で作られており、留め金も金引きのこぎりを使い、手作りされています。枠と留め金には緻密に細工が施されています。

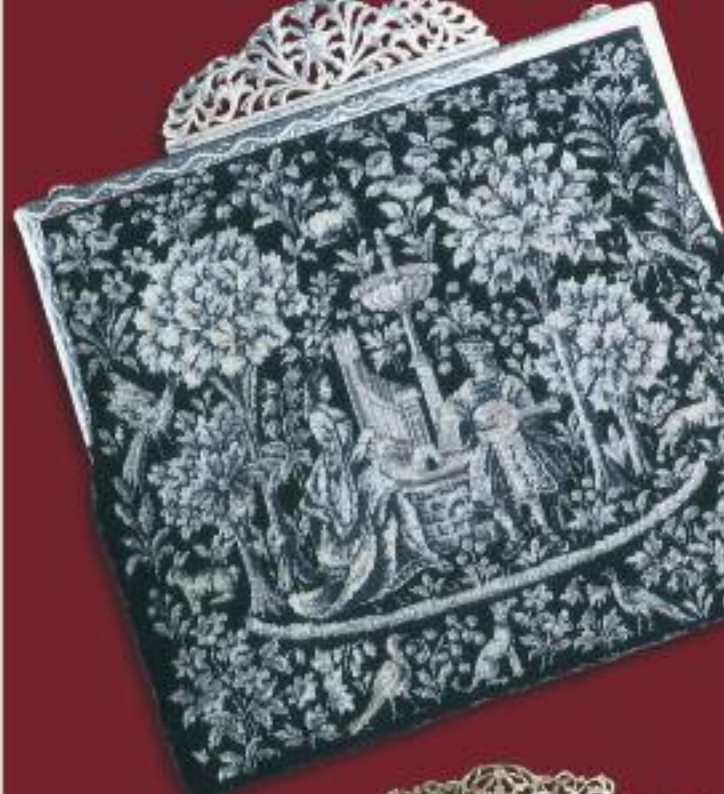
そして、刺繍と枠とすばらしく柔らかいなめし革は専門の熟練工によって組み合わされ、ハンドバッグになります。

プチ・ポワンの高級なハンドバッグは永遠の宝となります。



このきれいなスターリング・シルバでできた宝石のブローチはウィーン人の芸術家によって造られております。

お客様は、ブローチでもペンダント・トップでも使うことができます。この刺繍にも一平方センチメートルあたり361のステッチが用いられています。



このハンドバッグは昔の面影のスタイルが愛されており、留め金は金引きのこぎりで作られており、留め金には緻密に細工が施されています。

